

「 考えて生きる 」

人間には、他の動物には欠けているもの、すなわち「考えて生きる」、生き方を工夫する、「よく」生きようと努力することができるという特権が与えられている。

(いのちの言葉 日野原 重明)

本格的な台風シーズンになる一方で、最近では突発的な豪雨が全国各地で発生するなど天候が不安定になっています。また、今年は無曽有の被害をもたらした関東大震災から100年の節目にあたります。一人ひとりが災害の記憶や教訓を継承し、災害に対する防災意識が高まることを期待したいと思います。

先日、暑い夏を乗り切り、力強く育った赤しそや紫キャベツを子ども達と収穫しました。豊作となりましたので、皆で観察していると「この葉っぱは色が出そうだよ」「こっちの実はどう？」と両手でこすり合わせたり、地面に置き全体重をかけ潰したりと、自発的に試す姿が見られ遊びが広がっていきました。そして、紙染から布染へと色出しに発展していきました。豊かな経験を通して、感じたり、分かる様になることで「気づく力」が育ち、考えたり工夫することで「試してみる力」が培われていくのだと思います。

現代は社会の変化のスピードも速く、人の価値観も多様化しています。そんな中で、自らの選択と意志に基づいて行動できる力を育むためには主体性を大切に、大人は基本的に見守り役になり 過剰な手出しや口出しをせず、自らの「やりたい」「知りたい」気持ちを伸ばせるよう環境を整えていく必要があります。私たちは、朝起きてから夜眠るまで、選択をした「考え」を行動にしています。それは幼い子どもたちも同じです。遊びや生活の中から一人で決めること、協力すること、我慢すること、挑戦することなど様々です。日々成長するその姿を見つめながら、これからの未来を生きる子どもたちの「考えて生きる力」が育まれるよう支えていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

9月聖句

人はパンだけで生きるものではない。

ルカによる福音書4章4節

9月主題

「あそぼう」0歳

- ・お祈りやさんびかを真似ようとする。
- ・興味が広がり、のびのびと身体を動かす。
- ・保育者や友だちと雲を見たり、風を感じたり、虫の声を聞いたりする。

「やりたいようにやってみる」1・2歳

- ・神さまのお話を聞き、親しみをもつ。
- ・保育者や友だちと一緒にうれしくなり、自分の思いを表して遊ぶ。
- ・季節の変化に気づき、風や雲、虫や草花などに興味をもつ。

～子どもたちの姿～

まだまだ汗ばむ時期ではありますが、日の長さも随分と短くなってきました。酷暑と言われた夏、子どもたちは存分に水遊びを楽しんでは、活動に見通しをもち、トイレに行ったり「先生こう？」と衣服の前後を気にしながら着替えるなど意欲的でした。また、色水遊びからジュース屋さん、泡遊びからお風呂ごっこへと遊びが発展し、体中泡だらけになりながら「気持ちいいよ」と友だちの手足を洗ってあげるなど微笑ましい姿も見られました。これからも子ども達が互いを意識し、それぞれの思いが満たされるような活動を取り入れていきたいと思っています。



【9月の讚美歌】

かみさまがつくれた

【9月のうた】

どんぐりころころ とんぼのめがね

	月	火	水	木	金	土	日
9月の予定表					1 避難引渡し訓練	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12 身体測定	13	14	15	16	17
	18 敬老の日	19	20	21	22	23 秋分の日	24
	25	26 誕生日会	27	28	29	30 クレイシュ通信	

◎引渡し訓練があります。詳細は別紙にてお知らせいたしますので、ご確認をお願い致します。
◎気温差が激しい時期になり、疲れやすく体調を崩しやすいため体調変化がある場合は早めの休息、受診をお願い致します。